

**JASDAQ****平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

平成25年8月5日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	32,400	4.0	5,404	15.9	5,782	16.1	3,277	10.0
25年3月期第1四半期	31,156	1.5	4,661	△2.3	4,979	△5.6	2,980	△4.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,960百万円 (△2.8%) 25年3月期第1四半期 3,047百万円 (△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	54.88	—
25年3月期第1四半期	47.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	157,893	101,182	63.4
25年3月期	159,479	100,315	62.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 100,105百万円 25年3月期 99,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,700	1.5	9,000	△4.9	9,700	△4.3	5,730	△3.1	95.94
通期	130,000	0.9	19,000	3.3	20,400	△8.4	12,000	△6.4	200.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	59,725,000株	25年3月期	59,725,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,714株	25年3月期	2,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	59,722,286株	25年3月期1Q	62,686,395株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待感が続くなか、日本銀行の量的金融緩和を受け、円安・株高が一段と進行いたしました。これに伴い、輸出関連企業を中心に景況感が上向き設備投資意欲の高まる兆しがみられました。

この様ななか、業務用カラオケ事業においては、商品ラインアップを整え、全市場に向けたDAM拡販に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業では、既存店舗の集客や顧客満足度向上に取り組むとともに、収益基盤の多様化と拡大に注力いたしました。音楽ソフト事業におきましては、若手アーティストの育成に注力いたしました。

以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当第1四半期の売上高は32,400百万円(前年同期比4.0%増)となりました。利益面におきましては、業務用カラオケ事業とその他の事業が増益となり、カラオケ・飲食店舗事業が前期並みを確保、音楽ソフト事業が減益となり、営業利益は5,404百万円(同15.9%増)、経常利益は5,782百万円(同16.1%増)、四半期純利益は3,277百万円(同10.0%増)となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	31,156	32,400	1,244	4.0%
営業利益	4,661	5,404	742	15.9%
経常利益	4,979	5,782	802	16.1%
四半期純利益	2,980	3,277	297	10.0%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、ホテル・旅館市場向け新商品「Party DAM HD」を加えた全市場(ナイト、カラオケルーム、エルダー、ホテル・旅館)向け商品ラインアップの整備とコンテンツの強化、プロモーション効果により、機器の出荷が好調に推移しました。加えて、成長市場であるエルダー市場の深耕や重点戦略地域への営業強化もあり、DAM稼働台数及び機器賃貸契約件数は、順調に増加いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	15,907	17,130	1,222	7.7%
営業利益	3,338	4,108	770	23.1%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケルーム「ビッグエコー」のマルチブランド展開やコンセプトルーム設置、コラボルーム企画などを実施いたしました。また、飲食店舗におきましては、ダイニングバーに加えて居酒屋やバルなど地域性や客層に合わせた新業態を展開いたしました。さらに、「ビッグエコー」と飲食店舗のシナジーを活かした複合出店戦略の推進に努めました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	10,973	11,284	310	2.8%
営業利益	1,643	1,647	4	0.3%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「MAN WITH A MISSION」、「河西智美」などの若手作品が収益に貢献いたしました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,319	2,168	△151	△6.5%
営業利益	205	110	△95	△46.5%

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業部(衛星放送事業部を改称)を設置し、7月より開始の光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジ光」の準備を行いました。携帯電話向けコンテンツサービスにおいては、コストの低減に努めました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	1,955	1,816	△138	△7.1%
営業利益	313	337	23	7.4%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,585百万円減少し、157,893百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,661百万円増加し、現金及び預金が2,676百万円及び受取手形及び売掛金が1,576百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ貸貸機器が732百万円増加し、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが105百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,453百万円減少し、56,710百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が539百万円増加し、その他に含まれる未払金が2,256百万円及び未払法人税等が1,874百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が558百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ867百万円増加し、101,182百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加3,277百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,090百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,248	38,572
受取手形及び売掛金	8,337	6,760
たな卸資産	6,178	6,354
その他	6,735	8,428
貸倒引当金	△134	△123
流動資産合計	62,365	59,993
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ貸貸機器(純額)	7,598	8,331
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	15,251	15,369
土地	24,497	24,498
その他(純額)	7,135	7,120
有形固定資産合計	54,484	55,320
無形固定資産		
のれん	405	366
その他	5,956	5,847
無形固定資産合計	6,361	6,214
投資その他の資産		
投資有価証券	18,998	18,380
敷金及び保証金	13,060	13,279
その他	4,355	4,851
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	36,268	36,365
固定資産合計	97,113	97,900
資産合計	159,479	157,893

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,540	5,079
短期借入金	4,836	5,264
未払法人税等	4,524	2,649
賞与引当金	1,063	519
その他	12,419	11,877
流動負債合計	27,384	25,389
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,151	13,592
退職給付引当金	3,683	3,772
役員退職慰労引当金	2,088	2,060
その他	1,856	1,895
固定負債合計	31,780	31,320
負債合計	59,164	56,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	6,026	6,026
利益剰余金	78,119	79,306
自己株式	△5	△5
株主資本合計	96,490	97,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,646	3,262
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△100	△56
その他の包括利益累計額合計	2,768	2,428
少数株主持分	1,056	1,077
純資産合計	100,315	101,182
負債純資産合計	159,479	157,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	31,156	32,400
売上原価	18,077	18,416
売上総利益	13,078	13,984
販売費及び一般管理費	8,417	8,580
営業利益	4,661	5,404
営業外収益		
受取利息	157	196
受取補償金	—	133
その他	302	314
営業外収益合計	459	645
営業外費用		
支払利息	65	73
為替差損	38	140
その他	36	52
営業外費用合計	140	267
経常利益	4,979	5,782
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産処分損	19	96
その他	57	3
特別損失合計	77	100
税金等調整前四半期純利益	4,901	5,685
法人税、住民税及び事業税	2,238	2,752
法人税等調整額	△332	△368
法人税等合計	1,906	2,384
少数株主損益調整前四半期純利益	2,995	3,301
少数株主利益	15	23
四半期純利益	2,980	3,277

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,995	3,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△383
為替換算調整勘定	△9	43
その他の包括利益合計	51	△340
四半期包括利益	3,047	2,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,031	2,937
少数株主に係る四半期包括利益	15	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,907	10,973	2,319	29,201	1,955	31,156	—	31,156
セグメント利益 (営業利益)	3,338	1,643	205	5,187	313	5,501	△840	4,661

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△840百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	17,130	11,284	2,168	30,583	1,816	32,400	—	32,400
セグメント利益 (営業利益)	4,108	1,647	110	5,866	337	6,203	△799	5,404

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業(衛星放送事業を改称)、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△799百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。